

Moritz Sandro(モリッツ サンドロ)

基本情報



【出身地】
ドイツ連邦共和国
【転出元】
ドイツ □□ベルリン
【前 職】
ドイツ石工マスター
八女石灯籠職人
【活動時期】
R6.2~

協力隊になろうと思った理由

八女石灯籠に出会い、その魅力に心を奪われたのが20年前のこと。その後、石工マスターとしてドイツで八女石灯籠の魅力を広めてきました。日本への移住を機に八女市で地域おこし協力隊として活動し、八女石灯籠の新たな可能性を発信したいと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

ドイツ人で八女石灯籠職人という珍しさを活かし、より多くの人に八女石灯籠の魅力を伝えていきます。工房での制作や個展の開催に加え、SNSやイベントを通じて、自身の八女石灯籠との特別な絆を広く知ってもらえるよう努めていきます。退任後の目標は、サンちゃん石工房を拠点に「YAME ISHIDOUROU」をブランド化し世界に広めることを目指します。八女石灯籠の制作・展示・販売を通じて、地域の伝統工芸を守り、次世代の職人育成や地域活性化にも貢献したいです。

活動内容

●八女石灯籠のPR、製作と継承活動

● 現在、サンちゃん石工房の整備を進めており、まだ道具や機械が揃っていないため、少しずつ制作環境を整えています。令和7年9月には八女伝統工芸館にて個展を開催予定です。石灯籠やオリジナル作品の制作に力を入れ、準備を進めています。
● 石工房の見学やセミナーを実施し、石灯籠の制作過程や独自性を直接伝える場を提供。訪問者との交流を深めています。
● 小中学校でのワークショップを通じて、八女石灯籠の魅力を伝え、未来の職人を育成する活動も展開中です。



●八女茶(やべ茶)のPRと学び

八女茶の中でも、奥八女で生産される「やべ茶」。標高の高い矢部村で育まれるお茶の特別な魅力を広めたいという思いと、「担い手の減少」という課題もあり、この大切な地域資源が途切れてしまわないよう、原嶋製茶園で研修をしています。矢部茶の魅力を学びながら未来へ、そして世界へ届けたいです。



●地域イベントのサポート

『奥八女の南ドイツ』をテーマに、矢部杉でドイツ屋台を制作し、市内のイベントに参加しています。令和7年は矢部村クリスマスマーケットの開催を目標に掲げ、冬の名物イベントにしたいと考えています。さらに、矢部清流学園の行事や地域講座にも携わって一家で体験を楽しみながら、季節ごとのイベントをサポートしています。



メディア紹介・SNSなど

【サンドロモリッツ石灯籠HP】
<https://www.tourotaku.de>
【メディア紹介記事】
NHKニュース
西日本新聞社① 西日本新聞社② 読売新聞社
FUKUOKA IS OPEN



@TOUROTAKU.JP